



● 会長挨拶

会長 小野 徹君

皆さんこんにちは。

1/10に4クラブ合同例会がありました。三島RCとしては、単独では、今日が今年初の例会となります。改めて皆様、おめでとうございます。

さて、少し経ってしまいましたが、今年度の地区大会は、12/6(土)~12/7(日)にかけて、12/6は川奈ホテルで、12/7は伊豆ベロドロームで行われました。12/6(土)の川奈ホテルでの会議には、三島RCからは、渡辺脩助PG、堀内ガバナー補佐、ガバナー補佐事務局、会長・幹事が出席しました。来賓・役員を紹介するのに、一緒に参加している「奥様」方を、「パートナーの誰それ」と紹介するのは、私は初めてで、面食らいました。RI会長代理の Wen-Li Chiu (邱 文麗)さんは、台湾の大学の日本語学科で学んだというだけあって、流暢な日本語で挨拶されましたが、ものすごい美人で、しかも若くて、変なムシが付かないようにということでしょうか、父親で、台湾のPGだという人が一緒に来ておりました。ということは、独身なんですよね？ 肝心の挨拶では、「ロータリーは多様な人が集まって、強い組織になる。ロータリーの未来は、人で決まる」と強調されていました。表彰では、2024~25の「3名以上の新会員紹介者」に私が、2025~26の「ガバナー奨励賞」に「静岡第1グループのポリオ撲滅サイクルキャラバン」が選ばれ、「30年以上100%出席正会員」では、「小沼孝次」君と、「西原孝次」君が表彰されました。12/7(日)の伊豆ベロドロームでの大会には、三島RCは、各地からのロータリアンを三島駅から送迎するお役目が割り振られ、5名の方々にお願いしました。担当された皆様、情報に振り回されて、本当にご苦勞様でした。また、これとは別に、三島RCは、せせらぎRCのメンバーと一緒に、バスで大会会場を往復しました。ベロドロームは、静岡県の端っこですから、山梨県から見た友人などは、「本当に遠い」と嘆いておりました。(しょうがないですよ。こちらから出かけるにも、山梨はそれほど遠いということですから)ちなみに、

来年度の地区大会は、つまり今年度の地区大会は、10/25に「藤枝」で開催されるとの発表がありました。残念だったのは、伊東市内では広い会場が採れないということで、ベロドロームになったのですが、マイクが、自転車競技場の中ということで、渡辺脩助PG、堀内ガバナー補佐、ガバナー補佐事務局、会長・幹事は、中央のアリーナ席だったので、まだよかったです。観客席では音が反響しちゃって、何を言っているのか分からず、また、二つ設置された大型スクリーンも、光っちゃって見えないで、せっかくの美人のRI会長代理のアップの画像が、よく見れなかったことでした。それにしても、山梨、静岡のすべてのロータリアンが一堂に会して、いつもの通り、受付などはこちゃごちゃ状態でしたが、楽しく、賑やかな大会にはなりました。ただ、「懇親会」が、缶ビール付きとはいえ、お弁当で、しかも、アリーナでは「スクール形式」、一般席は「観客席」での食事では、移動しての挨拶が難しかったといえます。それでも、なつかしい顔に出会いました。

また、会場の外に設けられた物販のブースには、伊豆中央RCの推薦で、伊豆長岡芸者の久美さんの「芸者プリン」が売っていて、西原さんの呼び込みのおかげで、完売だったと喜んでおりました。最後に、三島RCは全員登録だったので、お土産を、行けなかったメンバーの分までいただいたのですが、その蒸し羊羹の賞味期限が12/14で、次の例会は12/17のクリスマス例会で、そこには間に合いません。そこで、やむを得ず、欠席者の分は、みんなで分けてしまいました。つまり、そういう、難しい事情があったということで、ご了承を願います。それにしても、大会運営に当たった伊東西ロータリークラブのご苦勞は大変なものだったでしょうね。本当にご苦勞様でした。

また、先日の4クラブ合同新年例会につきましても、せせらぎ三島RCの担当で、和太鼓や、チアダンス、またロータリーなのにYMCAなんかやらされましたが、楽しい合同例会でした。

以上、地区大会、4クラブ合同新年会の報告を兼ねた、会長挨拶とします。



クラブ会長指針

(Our)
「Enjoy (Your) Rotary Life」

RI会長 フランチェスコ アレッツォ

UNITE FOR GOOD

前期回顧

会長 小野 徹君

■杉村年度～高木年度(1)

杉村年度からは、杉村会長のリーダーシップで、様々な改革が行われ、高木年度にも継続して大きな改革がありました。杉村年度の一番の改革は、ロータリーの継続性から、「会長ノミニーをできるだけ早く決定する」ことでした。その恩恵を一番受けたのは、私でしょう。私は業界の仕事をしていて、RCは「出席免除」にしていたので、RCの実務にはまったく疎くなっていましたが、昨年8/25という早々に、指名委員会で、会長ノミニーに選任していただき、理事・役員会にも「オブザーバー」で参加をさせていただく事が出来ました。もちろん、その程度で、私の「失われた20年」が蘇るわけではありませんが、星合義弘君という、それぞれRCの真ただ中で活躍してきた逸材に、幹事になってもらうことで、それを補う事が出来たと思っています。この「できるだけ早めに次々年度の会長を選出し、前会長、会長、次年度会長、次々年度会長予定者の4名で、クラブの運営を手助けしていこう」ということは、高木年度でもこれを踏襲してきましたが、小野年度も、8/27の指名委員会で、次々年度の会長に伊丹克明君が選任されたことから、年度途中ではありましたが、社会奉仕委員長の小松大輔君を「行動計画推進委員長」に、高木・小野・松田・伊丹を委員にして、委員会を設置・開催し、皆さま方から頂いた「会員満足度調査」をもとに、討議・打合せをしました。

■杉村年度～高木年度(2)

杉村年度のもう一つの大きな改革は、例会回数を、他のクラブに合わせ、36回にすることでした。高木年度もこの開催回数を踏襲しましたが、高木年度は、夜間例会を、通常例会と同様の進行・式次第とし、その後に懇親会を催すことに変更しました。小野年度は、この高木年度の夜間例会方式を踏襲し、ただし、1・2・3週を例会としていたものを、4・5週が連続休会になるのを避けて、1・2・4週に変更し、開催しております。

■会員満足度アンケート

なお、こうした方式を、会員がどう見ているのかわかりませんでしたので、今年度は「会員満足度アンケート」を行い、それを会報に掲載するとともに、さらに他の方々のそうした意見を参考にしながら、再度、皆さまからご意見を伺う例会を設け、この時の意見も加えて、会員の誰もが、どんな意見が出たのか、分かる状態にしております。「アンケート」の結果を見る限り、現状肯定の意見が多かったように見受けられましたが、よりよいクラブにしていきたいために、少数意見をどう生かしていくか、松田年度への宿題としています。

■RI会長交代

さて、小野年度の初めは衝撃的なものでした。6月に入って突然、RI会長エレクトの「マリオ・デ・カマルゴ」氏が辞任し、イタリア、シシリー島の、「フランチェスコ・アレツツォ」氏が、RI会長に指名されたのでした。幸いというか、今までは「テーマ」として「スローガン」が出されていましたが、新年度は、役員が皆で決めた「メッセージ」という形になったので、RIから示された新年度のメッセージは、そのまま継続されました。そのRI会長の「メッセージ」は「UNITE FOR GOOD」で、(よいことのために 手を取り合おう)で、当然ながら、地区も各クラブも、その大方針に従って、事業・活動を進めていくことになりました。

■小野年度の前提

さて、2025～26年度の、当クラブを運営するに当たっては、前提となることがありました。

1. 静岡第1グループから、伊東西RCの稲葉ガバナーを輩出しているの、同じグループ内の三島RCは、「地区大会」の開催等に全面的に協力していかなければならないこと。(ことに、三島RCには、静岡第1グループで唯一のガバナー経験者である渡辺脩助PGが在籍されていること)
2. 三島RCから、堀内満喜子・静岡第1グループのガバナー補佐を出しているの、「IM」の開催等に全面的に協力していかなければならないこと。
3. 松田年度に、三島は「創立70周年」の大きな節目を迎えるので、小野年度中に、「準備委員会」を発足していかなければならないこと、です。

■地区大会

「地区大会」については、先程の会長挨拶でかなり詳細に説明しましたので、ここでは省略しますが、三島RCがこれに全員加というということで、大変大きな金額となることから、「年会費」を元の24万円に戻すとともに、「地区大会負担金」までもお願いすることになり、申し訳なく思っています。

■地区目標①会員増強

地区目標の第一に掲げられた「会員増強」については、高木年度からの引継ぎで、年度当初に、石井真人君、勝又規博君が入会し、8月からは宮沢淳子さんが入会してくれました。会員増強の具体的な行動として、8/20の例会に、浅倉幸久委員長作成の「会員増強リスト」をもとに、グループ討議を行い、新たな候補者の推薦な度がありましたので、これに基づいて努力しているつもりです。皆さんにも、ご協力願っていますが、もう一押し、お力添えをお願いします。残念なのは、宮内正敏君が病氣療養となり、宮内君が会計の担当だったので、急遽、佐藤浩美さんに替わっていただくというハプニングがありました。現在、正会員は44名で、プラス3名ということになっています。

■地区目標②END POLIOへの取組

「END POLIO」への取組は、静岡第1グループの堀内満喜子ガバナー補佐の肝入りで、11/1(土)に、第1グループの7クラブが連携して、下田から三島まで、「サイクルキャラバン」を行いました。このキャラバンには、稲葉雅之ガバナー、堀内ガバナー補佐も、自ら自転車に乗られました。また、同日、三島、三島西、せせらぎ三島の3RCに、日大三島高校、知徳高校インターアクトクラブが参加して、三島大社社頭で募金活動を行いました。「みしまるこちゃん」を引っ張り出した加藤真理子・青少年委員長も、お疲れさまでした。いずれ、この「総括」を、ガバナー補佐がしてくれと思います。

ポリオについては、「古着でワクチン」も小規模ながら継続され、「職業奉仕」の一環ということでしたので、中山章一委員長に対処してもらいました。「テーブル・フォー・ツー」は、毎回の金銭管理が大変でしたが、小松大輔委員長にお骨折りをいただきました。

■小野年度のスローガン

RIのメッセージである「UNITE FOR GOOD」(よいことのために 手を取り合おう)を、具体化・具現化していくための私のスローガンは「Enjoy (Our) (Your) Rotary Life」です。できるだけ具体的な方策で、これを実現したいと考えています。